

(2)問4 で記載いただいた以外に、健診等を受ける上で困ったり、できなかつたりすることがあれば、できるだけ具体的にお書きください。

図表 130 (4) 以外の受診上困ったり、できないこと；自由記述

・H2O/2 心筋梗塞による薬服用中、造影剤による入院もあり耳鼻科を受診したいが、交通の便が悪く院長引退あり、融通なし、評判不詳のため通院なし
・診察の後の服直しに時間がかかる
・採血は手の血管からとっているのが痛い
・精神科薬を飲んでいるので副作用で口が渇いて辛いので胃癌の検診は受けられない
・採血できないわけではないが、腕の血管がみえにくいので手の甲の血管で採血してもらっている、なかなか健診に行きにくい
・乳がん
・市の健診で胃カメラの車で受けられないと言われた
・バリウムによる胃の検索
・胃の検査でバリウムの方がいいが、耳が不自由で体を動かさず説明が聞こえず先生に来てもらって体を動かしてもらっているんです。ある病院は耳が不自由だから胃カメラをすすめられるんです。私は喉が細いのか苦しくてもうお手上げです。麻酔（喉だけ）してもダメで気分悪くなってしまいます。胃の検査が困るのです
・以前人間ドックで胃の透視（バリウム）の検査を受けたが、検査の間検査台（？）が上下左右に動いて自分自身でつかまっていたことができなかつたので、検査員の人が中に一緒に入って私をささえてくれていた。それ以来胃の透視検査は受けず、胃カメラの検査を受けるようにしている
・聴力・視力などの検診は本人が意志をはっきり表現できないのでできません
・MRI などでもできないと思いますが、一度国立小児病院で成功したことがあり、それはショートステイでお世話になっている本人の好きな看護婦さんがたまたま応援勤務にこられていて声がけ・お世話してくださったためでした（腎臓機能の障害があるかどうかを調べた）
・肺機能検査 肺活量の検査が受けられない、難しい
・胃の検診の時バリウムが飲めない
・健診服の着替え。
・血圧、採血に時間がかかる。
・バリウム検査で台の上で動く時に落ちそうになってからはスタッフが同伴。
・脈が取れづらい（特に疲れていると脈があったところなくなる）
・病院に行くまでの付添人がいない。
・胃の検診で検診車に行った時グルグル回転する器具で落ちそうになった。それ以来胃の検診は受けない。病院の時は院内の人が付き添ってくれて安心だった。
・診察室における洋服の着脱
・診療と関係がないと思われる時にも障害に興味をもたれる事
・骨密度測定
・手話通訳者がいないと困る時もあります。
・胃の造影レントゲン時、左手でバリウムの入ったコップを持ち、飲むように指示があるが、左手ではバリウム入りのコップは重くて持てない。
・採血は足から取るので、冬になると血管がわからなくて困る。何度もやり直す事がある。
・血圧も足からなので足用が無いと測定出来ない。
・MRI や CT の時により詳しく調べる為の造影剤が、注射の針が太くてなかなかうまく静脈に入らず何回もやられて大変でした。
・MRI 等を受ける時、両腕をじっとしていうと痛みが出てきて大変つらい。
・超音波診断の際、胆のうを探すのに時間がかかる。
・自分の服から検査着への脱ぎ着が困難。
・検査から検査への移動、検査台に上がったり、下りたりが大変。
・朝の受付が早いので、検査を受ける病院に行くのが大変。

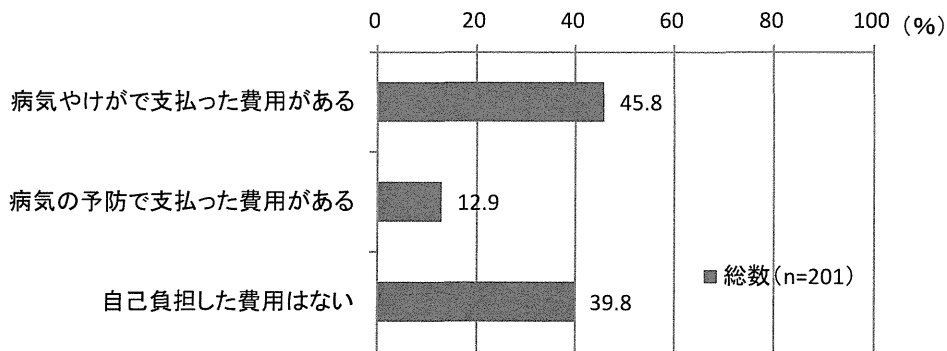
・聴覚障害の為、指示放送（マイク等）が聞こえないので不便。
・骨粗しょう症の検査で、ハンドル式の検査が人間ドックに付いているが計測出来ない。
・衣服の着脱です。
・食事がとれないくらい、国立医療センターの健診がハードで、食事が出来ない程寝てしまった。
・サリドマイドの理解が広まっていない。

(6) 3ヶ月間の医療費の自己負担状況

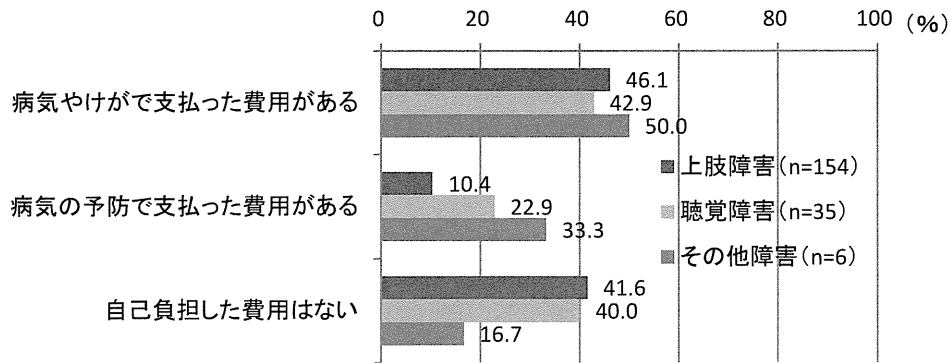
問 6 あなたの最近3か月分の病気やけが、予防で自己負担した費用（障害福祉サービス、介護保険サービスの利用者負担は含まれません）はありましたか（〇はいくつでも）。また、自己負担して支払った費用がある場合、およその合計金額を教えてください。

- 最近3ヶ月間の医療費の自己負担有無について、全体で見ると、「病気やけがで支払った費用がある」が45.8%と最も多く、次いで「自己負担した費用はない」が39.8%、「病気の予防で支払った費用がある」が12.9%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「病気やけがで支払った費用がある」が46.1%と最も多く、次いで「自己負担した費用はない」が41.6%、「病気の予防で支払った費用がある」が10.4%である。聴覚障害は「病気やけがで支払った費用がある」が42.9%と最も多く、次いで「自己負担した費用はない」が40.0%、「病気の予防で支払った費用がある」が22.9%である。その他障害は「病気やけがで支払った費用がある」が50.0%と最も多く、次いで「病気の予防で支払った費用がある」が33.3%、「自己負担した費用はない」が16.7%である。
- 性別で見ると、男性は「病気やけがで支払った費用がある」が49.0%と最も多く、次いで「自己負担した費用はない」が39.0%、「病気の予防で支払った費用がある」が10.0%である。女性は「病気やけがで支払った費用がある」と「自己負担した費用はない」がそれぞれ41.4%、次いで「病気の予防で支払った費用がある」が16.2%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「病気やけがで支払った費用がある」が43.3%と最も多く、次いで「自己負担した費用はない」が36.7%、「病気の予防で支払った費用がある」が16.7%である。親とのみ同居世帯は「病気やけがで支払った費用がある」が46.7%と最も多く、次いで「自己負担した費用はない」が35.6%、「病気の予防で支払った費用がある」が13.3%である。その他世帯は「病気やけがで支払った費用がある」が46.0%と最も多く、次いで「自己負担した費用はない」が41.9%、「病気の予防で支払った費用がある」が13.7%である。

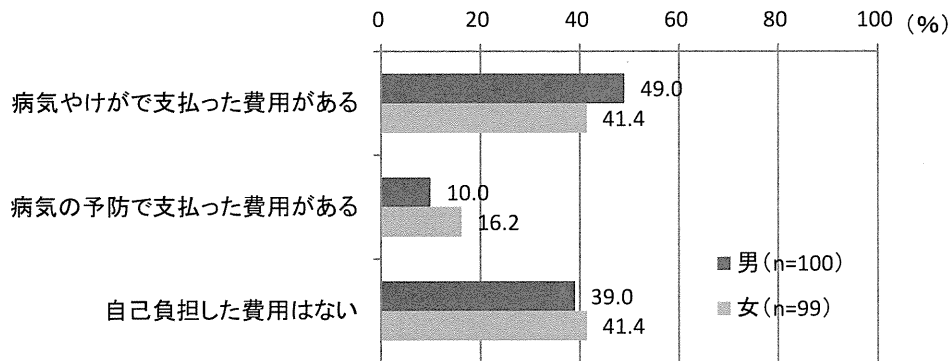
図表 131 医療費の自己負担有無；全体（複数回答）



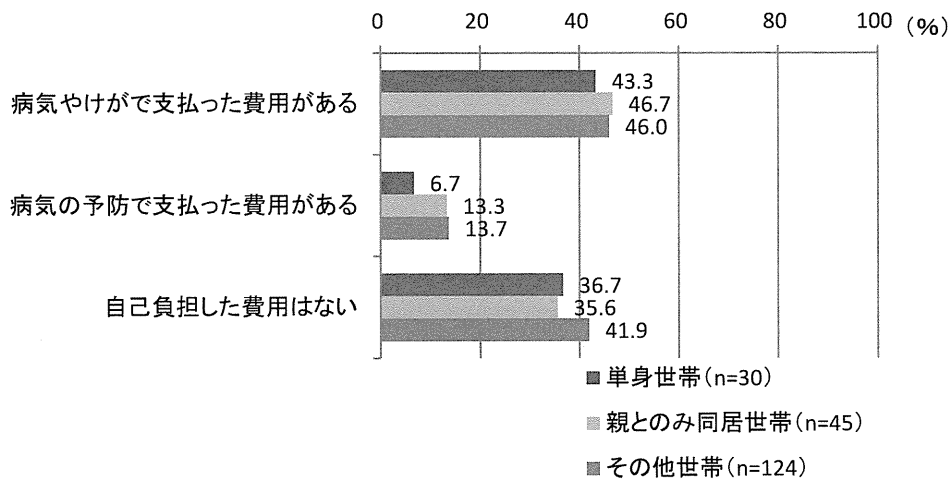
図表 132 医療費の自己負担有無；障害種別（複数回答）



図表 133 医療費の自己負担有無；性別（複数回答）

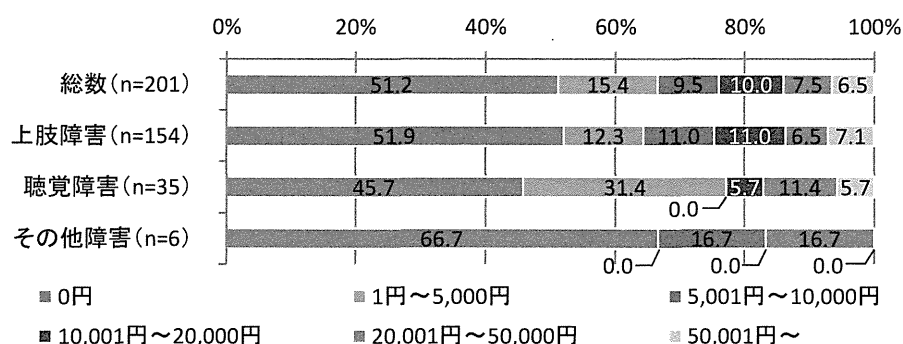


図表 134 医療費の自己負担有無；世帯類型別（複数回答）

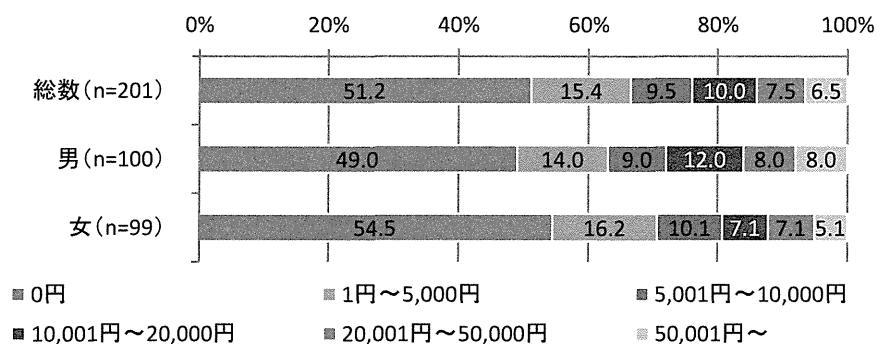


- 最近3ヶ月の医療費の負担合計金額について、全体で見ると、「0円」が51.2%と最も多く、次いで「1円～5,000円」が15.4%、「10,001円～20,000円」が10.0%、「5,001円～10,000円」が9.5%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「0円」が51.9%と最も多く、次いで「1円～5,000円」が12.3%、「5,001円～10,000円」と「10,001円～20,000円」がそれぞれ11%である。聴覚障害は「0円」が45.7%と最も多く、次いで「1円～5,000円」が31.4%、「20,001円～50,000円」が11.4%である。その他障害は「0円」が66.7%と最も多く、次いで「5,001円～10,000円」、「20,001円～50,000円」がそれぞれ16.7%である。
- 性別で見ると、男性は「0円」が49.0%と最も多く、次いで「1円～5,000円」が14.0%、「10,001円～20,000円」が12.0%、「5,001円～10,000円」が9.0%である。女性は「0円」が54.5%と最も多く、次いで「1円～5,000円」が16.2%、「5,001円～10,000円」が10.1%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「0円」が53.3%と最も多く、次いで「10,001円～20,000円」が16.7%、「1円～5,000円」が13.3%となっている。親とのみ同居世帯は「0円」が51.1%と最も多く、次いで「1円～5,000円」が15.6%、「50,001円～」が13.3%である。その他世帯は「0円」が50.8%と最も多く、次いで「1円～5,000円」が16.1%、「5,001円～10,000円」が11.3%である。

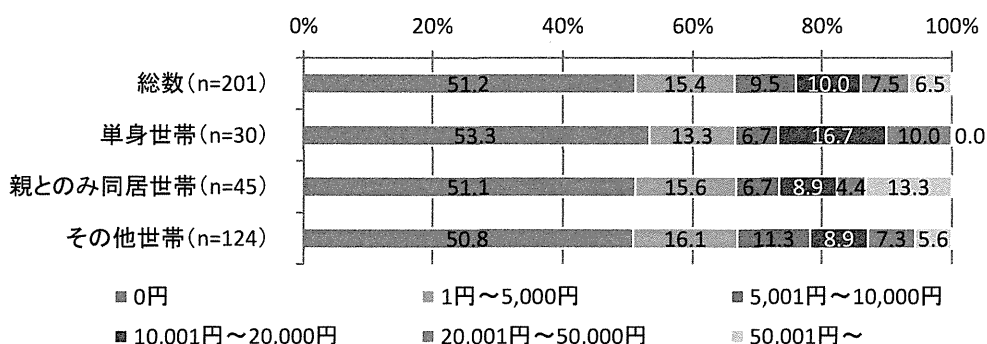
図表 135 医療費の自己負担合計金額；障害種別



図表 136 医療費の自己負担合計金額；性別



図表 137 医療費の自己負担合計金額；世帯類型別

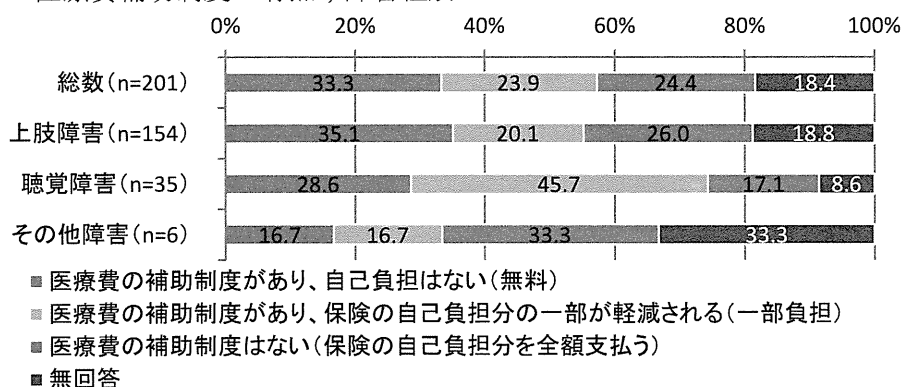


(7) 市町村の医療費補助制度の有無

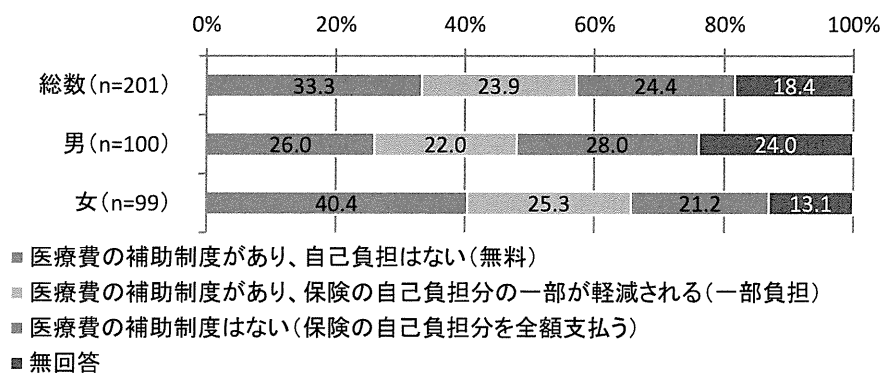
問7 あなたがお住まいの市町村には医療費の補助制度がありますか。

- 居住している市町村に医療費の補助制度があるかについて、全体で見ると、「医療費の補助制度があり、自己負担はない(無料)」が33.3%と最も多く、次いで「医療費の補助制度はない(保険の自己負担分を全額支払う)」が24.4%、「医療費の補助制度があり、保険の自己負担分の一部が軽減される(一部負担)」が23.9%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「医療費の補助制度があり、自己負担はない(無料)」が35.1%と最も多く、次いで「医療費の補助制度はない(保険の自己負担分を全額支払う)」が26.0%、「医療費の補助制度があり、保険の自己負担分の一部が軽減される(一部負担)」が20.1%である。聴覚障害は「医療費の補助制度があり、保険の自己負担分の一部が軽減される(一部負担)」が45.7%と最も多く、上肢障害と比べて割合が高くなっており、次いで「医療費の補助制度があり、自己負担はない(無料)」が28.6%、「医療費の補助制度はない(保険の自己負担分を全額支払う)」が17.1%である。
- 性別で見ると、男性は「医療費の補助制度はない(保険の自己負担分を全額支払う)」が28.0%と最も多く、次いで「医療費の補助制度があり、自己負担はない(無料)」が26.0%である。女性は「医療費の補助制度があり、自己負担はない(無料)」が40.4%と最も多く、次いで「医療費の補助制度があり、保険の自己負担分の一部が軽減される(一部負担)」が25.3%、「医療費の補助制度はない(保険の自己負担分を全額支払う)」が21.2%である。全体に比べて「医療費の補助制度があり、自己負担はない(無料)」の割合が、男性は低く女性は高くなっている。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「医療費の補助制度があり、自己負担はない(無料)」と「医療費の補助制度があり、保険の自己負担分の一部が軽減される(一部負担)」がそれぞれ26.7%、「医療費の補助制度はない(保険の自己負担分を全額支払う)」が13.3%である。となつている。親とのみ同居世帯は「医療費の補助制度があり、自己負担はない(無料)」が35.6%と最も多く、次いで「医療費の補助制度があり、保険の自己負担分の一部が軽減される(一部負担)」が31.1%、「医療費の補助制度はない(保険の自己負担分を全額支払う)」が17.8%である。その他世帯は「医療費の補助制度があり、自己負担はない(無料)」が33.9%と最も多く、次いで「医療費の補助制度はない(保険の自己負担分を全額支払う)」が29.8%、「医療費の補助制度があり、保険の自己負担分の一部が軽減される(一部負担)」が20.2%である。

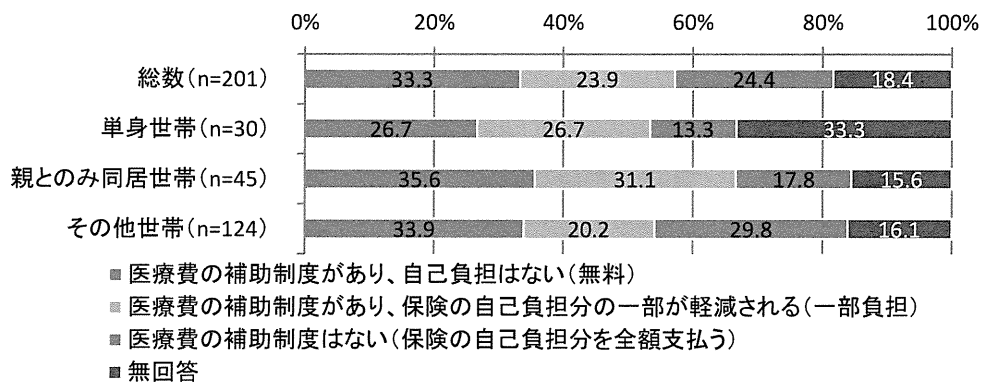
図表 138 医療費補助制度の有無；障害種別



図表 139 医療費補助制度の有無；性別



図表 140 医療費補助制度の有無；世帯類型別

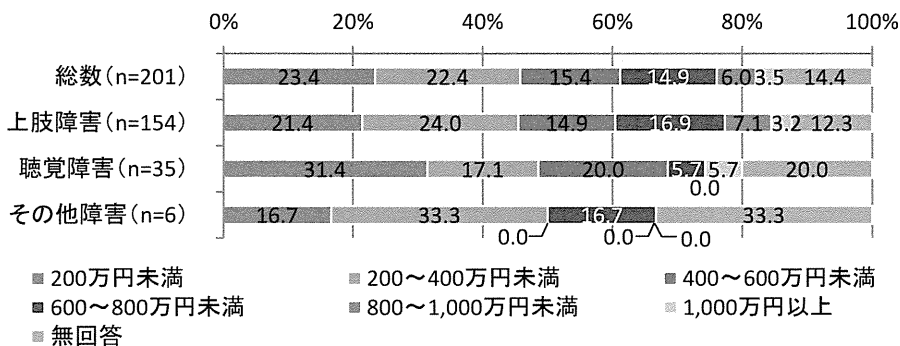


(8) 年間所得状況

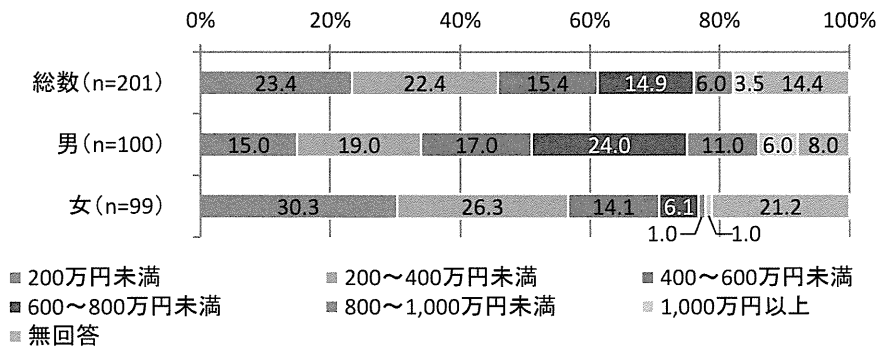
問9 差し支えなければ、あなたの平成23年のおおよその年間所得総額を記入してください。

- 平成23年のおおよその年間所得総額について、全体で見ると、「200万円未満」が23.4%と最も多く、次いで「200～400万円未満」が22.4%、「400～600万円未満」が15.4%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「200～400万円未満」が24.0%と最も多く、次いで「200万円未満」が21.4%、「600～800万円未満」が16.9%である。聴覚障害は「200万円未満」が31.4%と最も多く、次いで「400～600万円未満」が20.0%、「200～400万円未満」が17.1%である。その他障害は「200～400万円未満」が33.3%と最も多く、次いで「200万円未満」と「600～800万円未満」がそれぞれ16.7%である。
- 性別で見ると、男性は「600～800万円未満」が24.0%と最も多く、次いで「200～400万円未満」が19.0%、「400～600万円未満」が17.0%である。女性は「200万円未満」が30.3%と最も多く、男性と比較して高い割合になっており、次いで「200～400万円未満」が26.3%、「400～600万円未満」が14.1%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「200万円未満」が33.3%と最も多く、次いで「200～400万円未満」と「600～800万円未満」がそれぞれ20.0%、「400～600万円未満」が16.7%である。親とのみ同居世帯は「200～400万円未満」が33.3%と最も多く、次いで「400～600万円未満」が22.2%、「200万円未満」が20.0%である。その他世帯は「200万円未満」が22.6%と最も多く、次いで「200～400万円未満」が19.4%、「600～800万円未満」が15.3%である。

図表 141 年間所得額；障害種別

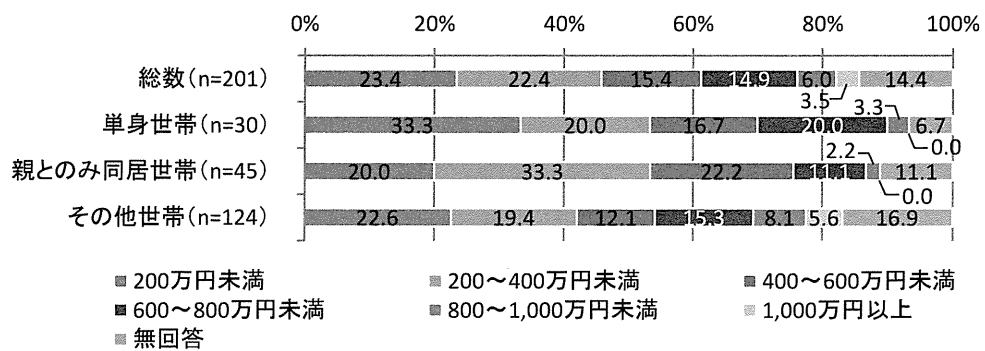


図表 142 年間所得額；性別



P<0.01 **

図表 143 年間所得額；世帯類型別

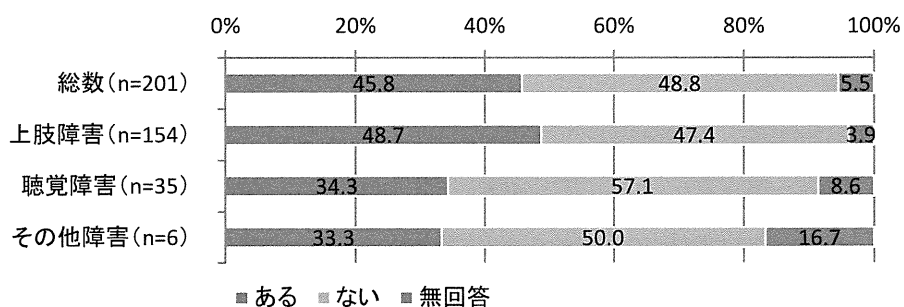


(9) 上記以外の収入状況

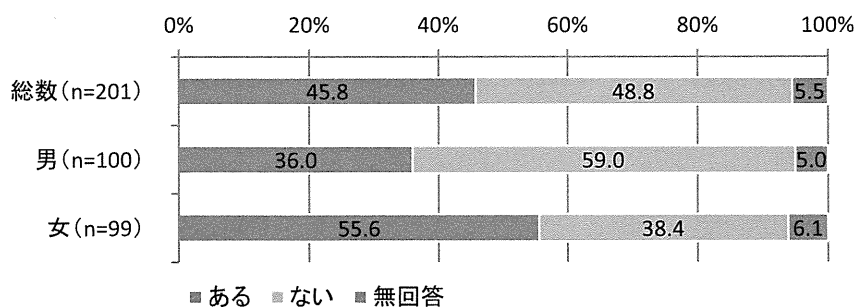
問 10 あなたの家計を支えるために上記以外の（配偶者などによる）収入がありますか？

- 上記以外の収入の有無について、全体で見ると、「ある」が45.8%、「ない」が48.8%で、「ない」方が少し多い。
- 障害別に見ると、上肢障害は「ある」が48.7%、「ない」が47.4%で、「ある」方がわずかに多い。聴覚障害は「ある」が34.3%、「ない」が57.1%、その他障害は「ある」が33.3%、「ない」が50.0%で、いずれも「ない」方が多い。
- 性別で見ると、男性は「ある」が36%、「ない」が59%で、「ない」方が多い。女性は「ある」が55.6%、「ない」が38.4%で「ある」方が多い。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「ある」が10.0%、「ない」が86.7%、親とのみ同居世帯は「ある」が31.1%、「ない」が62.2%で、いずれも「ない」方が多い。その他世帯は「ある」が58.9%、「ない」が35.5%で、「ある」方が多い。

図表 144 上記以外の収入の有無；障害種別

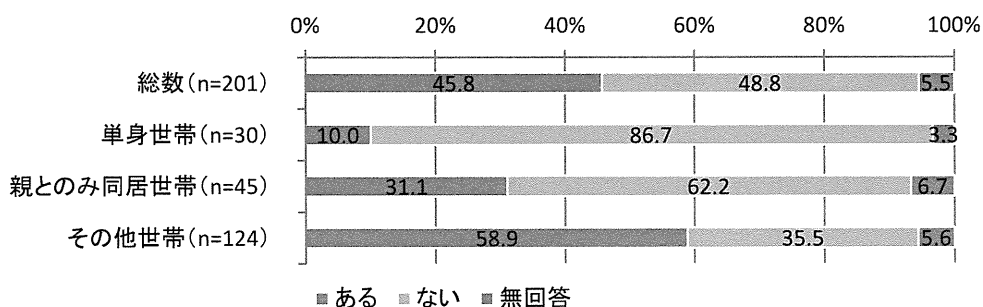


図表 145 上記以外の収入の有無；性別



P<0.01**

図表 146 上記以外の収入の有無；世帯類型別



P<0.01**

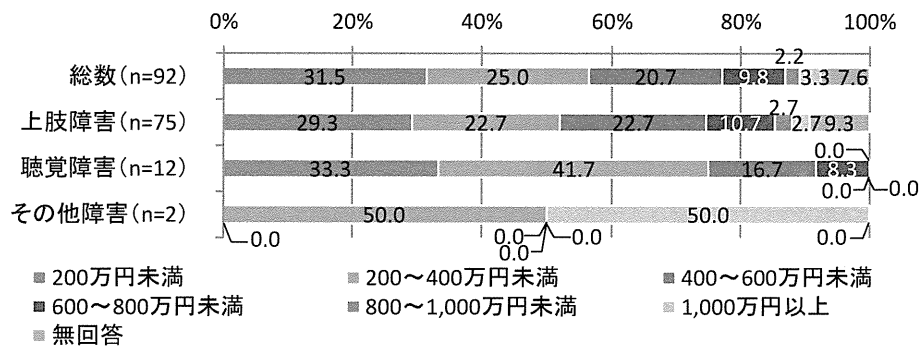
①上記以外に収入がある場合の年間所得金額

【「1ある」と答えた方にうかがいます。】

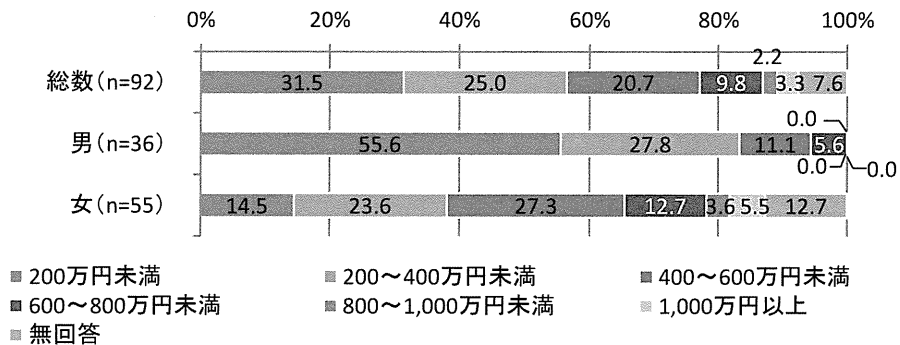
(1) 差し支えなければ平成23年のおおよその年間所得総額を記入してください。

- 上記以外の収入の金額について、全体で見ると、「200万円未満」が31.5%と最も多く、次いで「200～400万円未満」が25.0%、「400～600万円未満」が20.7%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「200万円未満」が29.3%と最も多く、次いで「200～400万円未満」と「400～600万円未満」がそれぞれ22.7%である。聴覚障害は「200～400万円未満」が41.7%と最も多く、全体と比べて高い割合になっており、次いで「200万円未満」が22.4%、「400～600万円未満」が16.7%である。
- 性別で見ると、男性は「200万円未満」が55.6%と最も多く、全体と比べて高い割合になっており、次いで「200～400万円未満」が27.8%、「400～600万円未満」が11.1%である。女性は「400～600万円未満」が27.3%と最も多く、次いで「200～400万円未満」が23.6%、「200万円未満」が14.5%である。
- 世帯類型別で見ると、親とのみ同居世帯は「200～400万円未満」が42.9%と最も多く、次いで「200万円未満」が35.7%、「400～600万円未満」が14.3%である。その他世帯は「200万円未満」が27.4%と最も多く、次いで「200～400万円未満」と「400～600万円未満」がそれぞれ23.3%である。

図表 147 上記以外の収入額；障害種別

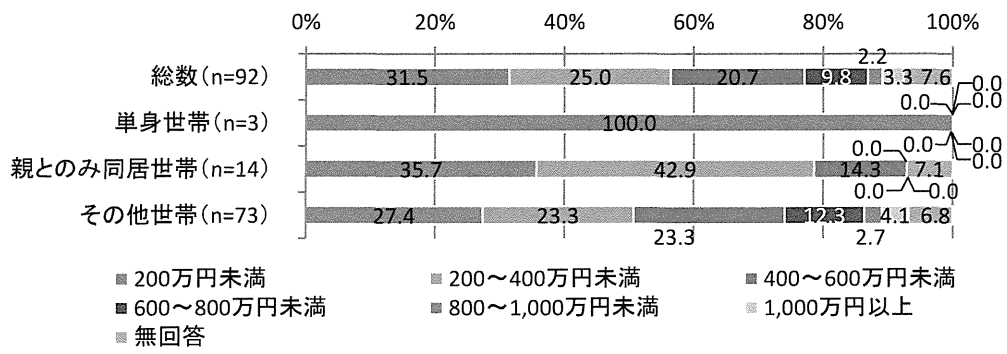


図表 148 上記以外の収入額；性別



P<0.01**

図表 149 上記以外の収入額；世帯類型別

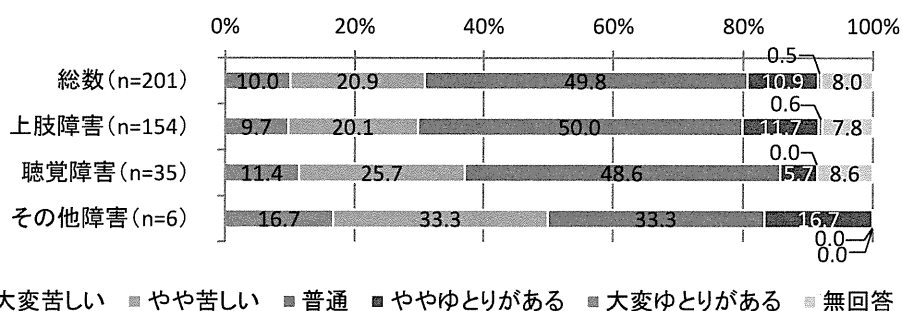


(10) 現在の総合的な暮らしの状況

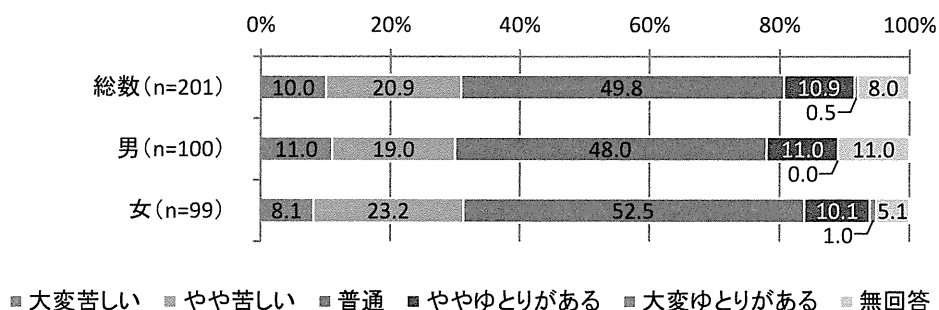
問 11 あなたの世帯の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。

- 世帯の現在の暮らしの状況を総合的に見てどう感じるかについて、全体で見ると、「普通」が49.8%と最も多く、次いで「やや苦しい」が20.9%、「ややゆとりがある」が10.9%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「普通」が50.0%と最も多く、次いで「やや苦しい」が20.1%、「ややゆとりがある」が11.7%である。聴覚障害は「普通」が48.6%と最も多く、次いで「やや苦しい」が25.7%、「大変苦しい」が11.4%である。その他障害は「やや苦しい」と「普通」がそれぞれ33.3%、「大変苦しい」と「ややゆとりがある」がそれぞれ16.7%である。
- 性別で見ると、男性は「普通」が48.0%と最も多く、次いで「やや苦しい」が19.0%、「大変苦しい」と「ややゆとりがある」がそれぞれ11.0%である。女性は「普通」が52.5%と最も多く、次いで「やや苦しい」が23.2%、「ややゆとりがある」が10.1%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「普通」が50.0%と最も多く、次いで無回答が20.0%、「やや苦しい」が16.7%である。親とのみ同居世帯は「普通」が57.8%と最も多く、次いで「やや苦しい」が17.8%、「大変苦しい」が13.3%である。その他世帯は「普通」が46.0%と最も多く、次いで「やや苦しい」が23.4%、「ややゆとりがある」が13.7%である。

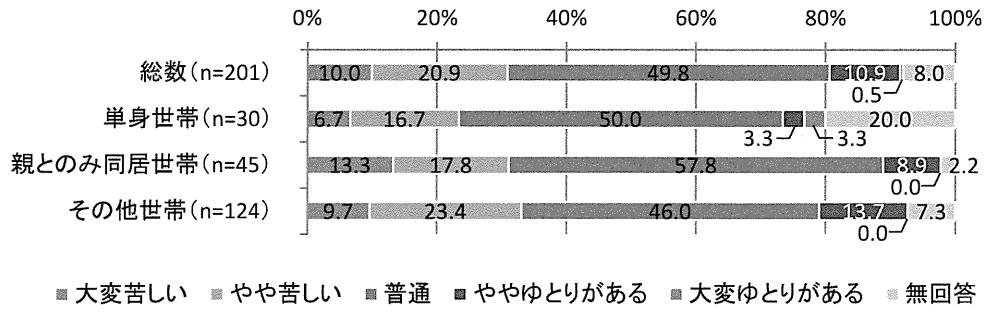
図表 150 総合的な暮らし状況；障害種別



図表 151 総合的な暮らし状況；性別



図表 152 総合的な暮らし状況；世帯類型別



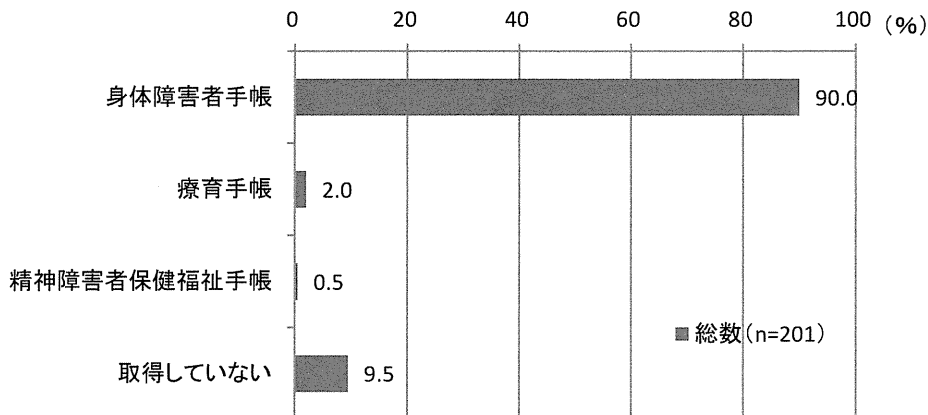
4. 福祉・介護サービスの利用状況

(1) 障害者手帳取得の状況

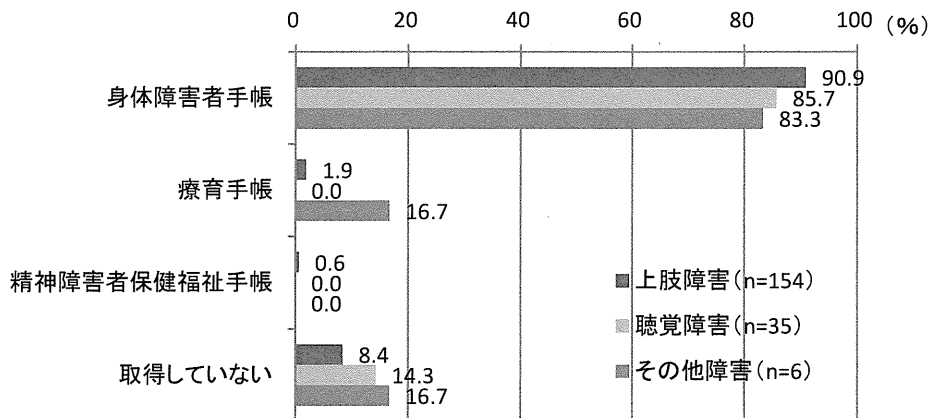
問1 あなたは障害者手帳を取得していますか（〇はいくつでも）。

- 障害者手帳の取得状況について、全体で見ると、「身体障害者手帳」が90.0%とほとんどが取得しており、次いで「取得していない」が9.5%、「療育手帳」が2%となっている。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「身体障害者手帳」が90.9%とほとんどが取得しており、次いで「取得していない」が8.4%、「療育手帳」が1.9%である。聴覚障害は「身体障害者手帳」が85.7%、取得していないが「14.3%」である。
- 性別で見ると、男性は「身体障害者手帳」が91.0%とほとんどが取得しており、次いで「取得していない」が8%である。女性は「身体障害者手帳」が88.9%とほとんどが取得しており、次いで取得していないが「11.1%」、療育手帳が3%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「身体障害者手帳」が90%とほとんどが取得しており、次いで「取得していない」が6.7%、「療育手帳」が3.3%である。親とのみ同居世帯は「身体障害者手帳」が95.6%とほとんどが取得しており、次いで「療育手帳」と「取得していない」が4.4%、「精神障害者保健福祉手帳」が2.2%である。その他世帯は「身体障害者手帳」が87.9%とほとんどが取得しており、次いで「取得していない」が12.1%、である。

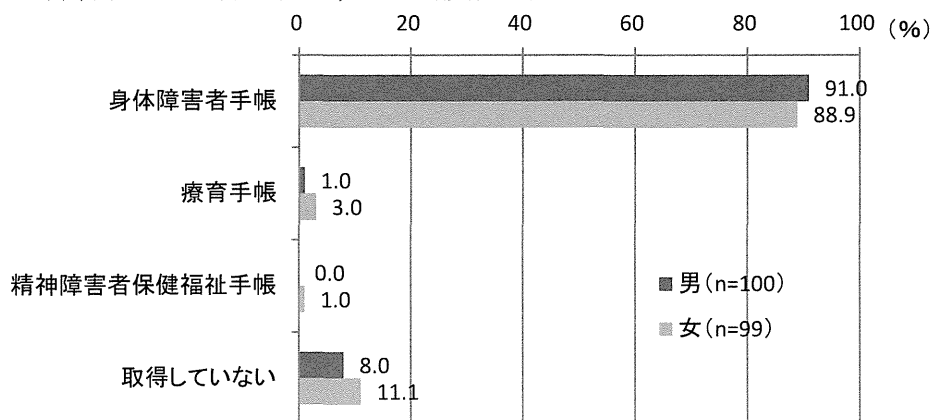
図表 153 障害者手帳取得の有無；全体（複数回答）



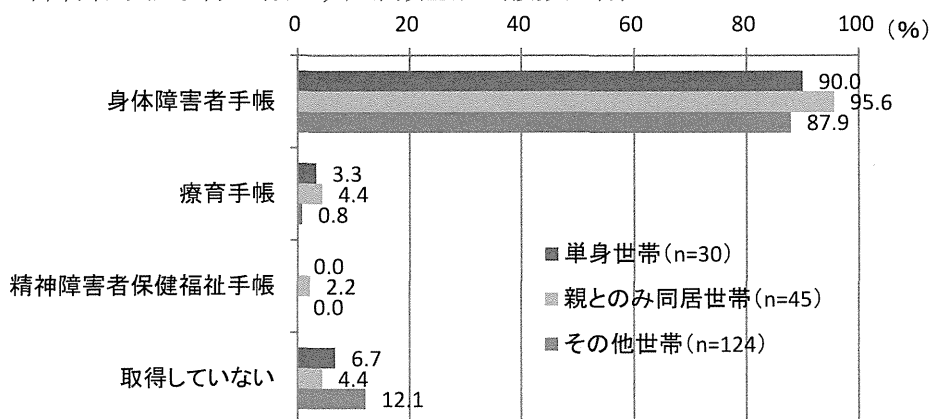
図表 154 障害者手帳取得の有無；障害種別（複数回答）



図表 155 障害者手帳取得の有無；性別（複数回答）

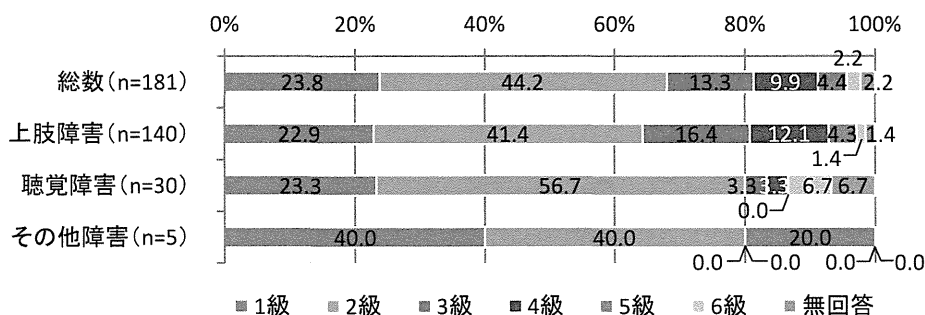


図表 156 障害者手帳取得の有無；世帯類型別（複数回答）

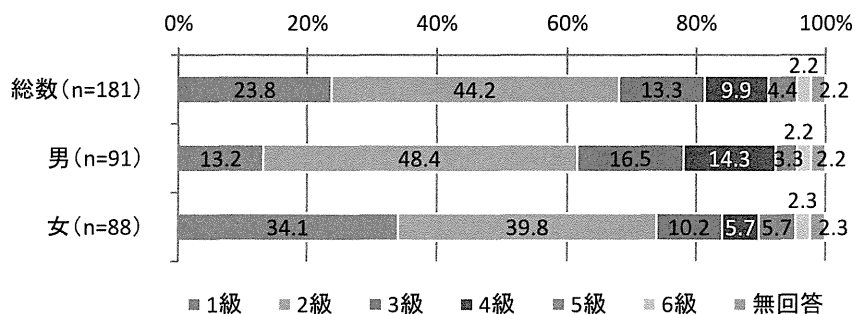


- 身体障害者手帳を持っている人の等級について、全体で見ると、「2級」が44.2%と最も多く、次いで「1級」が23.8%、「3級」が13.3%である。
- 障害種別で見ると、上肢障害は「2級」が41.4%と最も多く、次いで「1級」が22.9%、「3級」が16.4%である。聴覚障害も「2級」が56.7%と最も多いが、上肢障害に比べて割合が多くなっており、次いで「1級」が23.3%、「6級」が6.7%である。
- 性別で見ると、男性は「2級」が48.4%と最も多く、次いで「3級」が16.5%、「1級」が13.2%である。女性は「2級」が39.8%と最も多く、次いで「1級」が34.1%、「3級」が10.2%と、男性に比べて1級の割合が多くなっている。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「2級」が33.3%と最も多く、次いで「1級」が29.6%、「3級」が11.1%である。親とのみ同居世帯は「2級」が51.2%と最も多いが、他世帯類型に比べて割合が多くなっており、次いで「1級」が23.3%、「3級」が9.3%である。その他世帯は「2級」が44.0%と最も多く、次いで「1級」が22%、「3級」が15.6%である。

○
図表 157 身体障害者手帳等級；障害種別

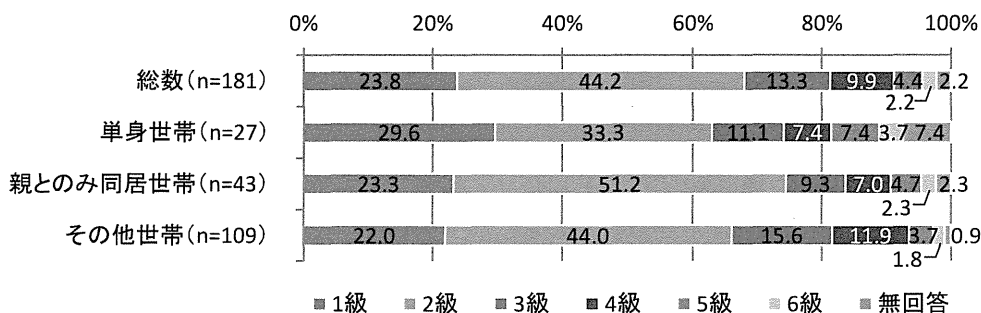


図表 158 身体障害者手帳等級；性別



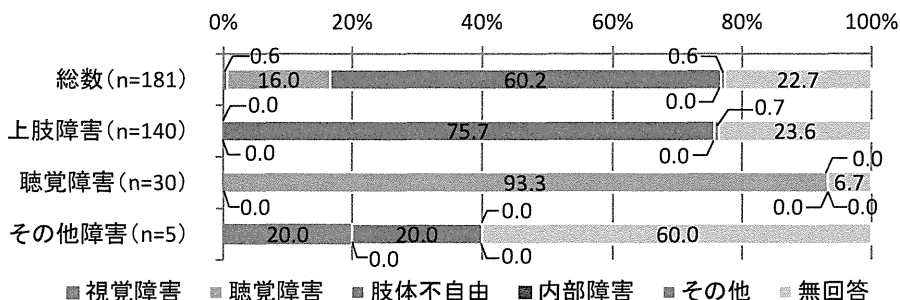
P<0.05*

図表 159 身体障害者手帳等級；世帯類型別



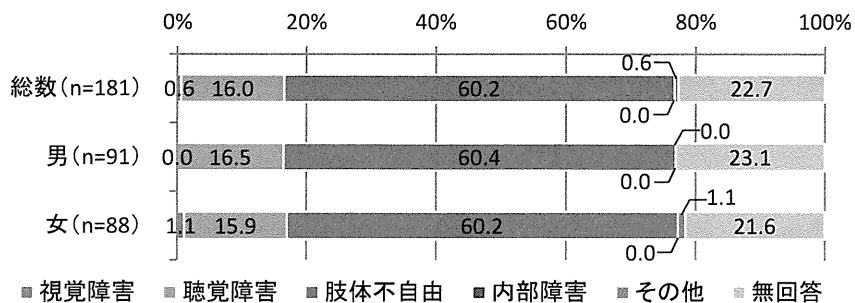
- 身体障害者手帳を持っている人の種別について、全体で見ると、「肢体不自由」が 60.2%と最も多く、次いで「聴覚障害」が 16.0%である。
- 性別で見ると、男性は「肢体不自由」が 60.4%と最も多く、次いで「聴覚障害」が 16.5%である。女性は「肢体不自由」が 60.2%と最も多く、次いで「聴覚障害」が 15.9%である。
- 世帯類型別で見ると、単身世帯は「肢体不自由」が 63.0%と最も多く、次いで「聴覚障害」が 18.5%である。親とのみ同居世帯は「肢体不自由」が 69.8%と最も多く、次いで「聴覚障害」が 14.0%である。その他世帯は「肢体不自由」が 56.0%と最も多く、次いで「聴覚障害」が 15.6%である。

図表 160 身体障害者手帳種別；障害種別

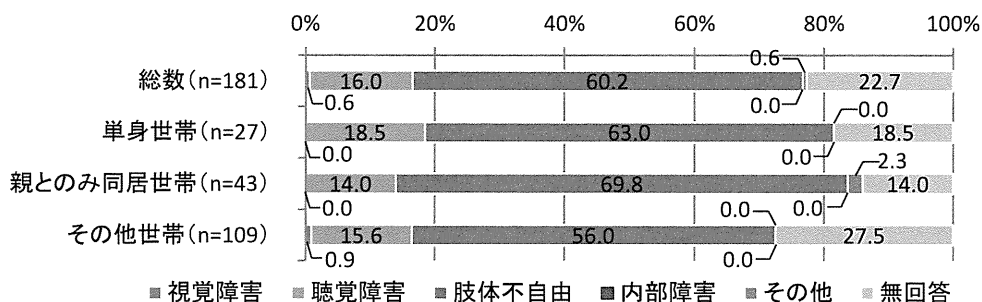


P<0.01**

図表 161 身体障害者手帳種別；性別

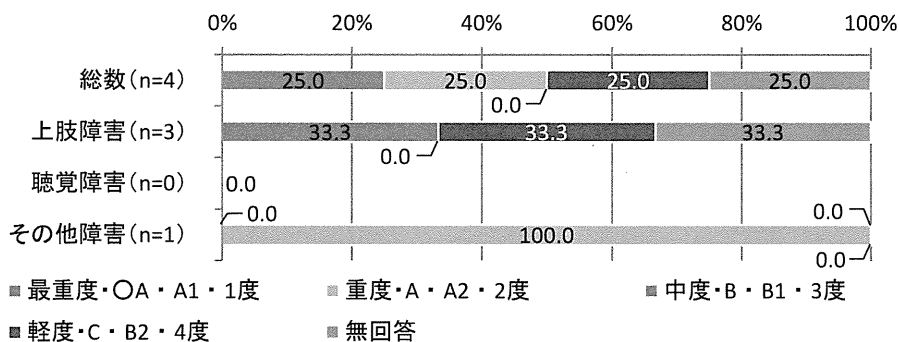


図表 162 身体障害者手帳種別；世帯類型別

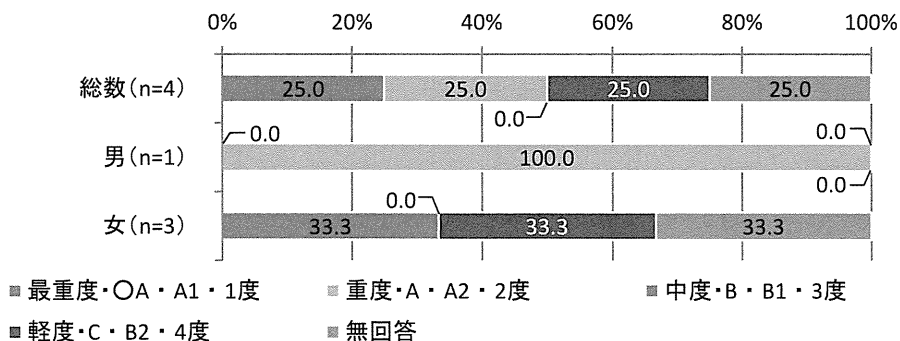


○療育手帳を持っている人の等級について、全体で見ると、「最重度・○A・A1・1度」、「重度・A・A2・2度」、「軽度・C・B2・4度」、がそれぞれ 25.0% (1人) ずつである。

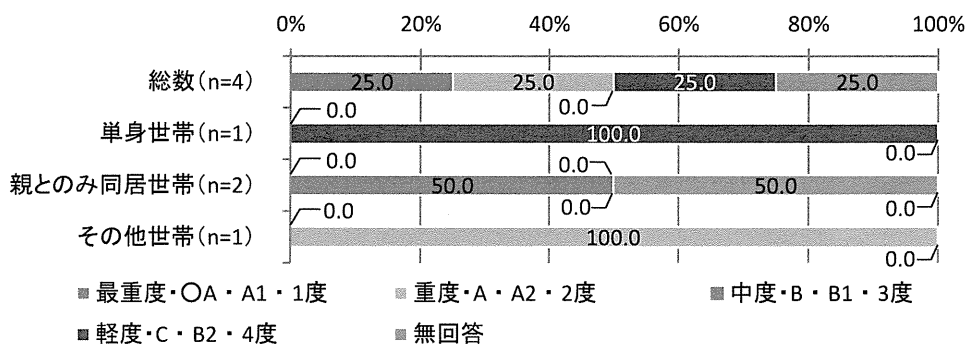
図表 163 療育手帳等級；障害種別



図表 164 療育手帳等級；性別

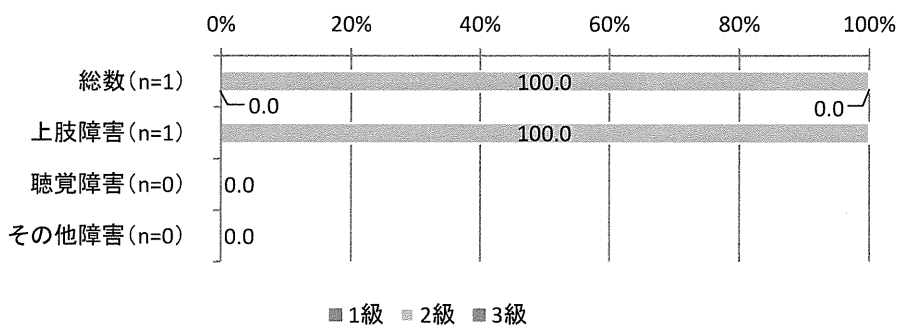


図表 165 療育手帳等級；世帯類型別

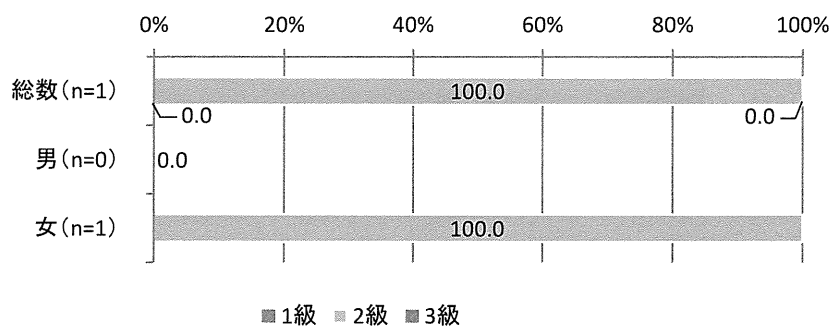


○精神障害者保健福祉手帳を持っている人は1人で、等級は「2級」、障害種別は「上肢障害者」、性別は「女性」、世帯類型は「親とのみ同居世帯」である。

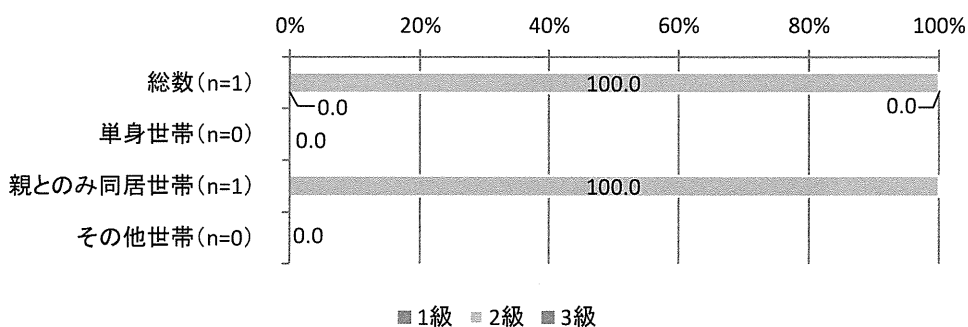
図表 166 精神障害者保健福祉手帳等級；障害種別



図表 167 精神障害者保健福祉手帳等級；性別



図表 168 精神障害者保健福祉手帳等級；世帯類型別



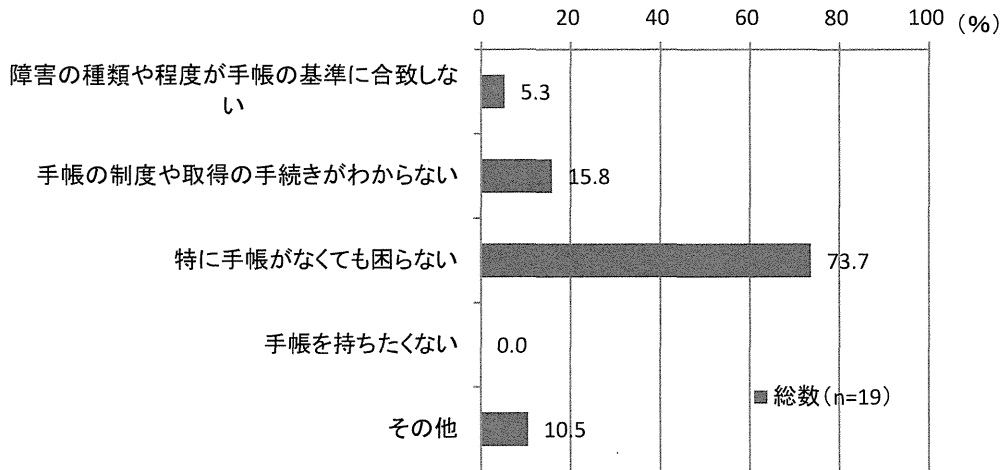
①手帳を取得していない場合その理由

【「4手帳は取得していない」と答えた方にうかがいます。】

(1) 手帳を取得していない理由は何ですか (〇はいくつでも)。

〇手帳を取得していない理由について、全体で見ると、「特に手帳がなくても困らない」が73.7%と最も多く、次いで「手帳の制度や取得の手続きがわからない」が15.8%、「その他」が10.5%である。

図表 169 手帳を取得していない理由；全体（複数回答）



図表 170 手帳を取得していない理由；障害種別（複数回答）

